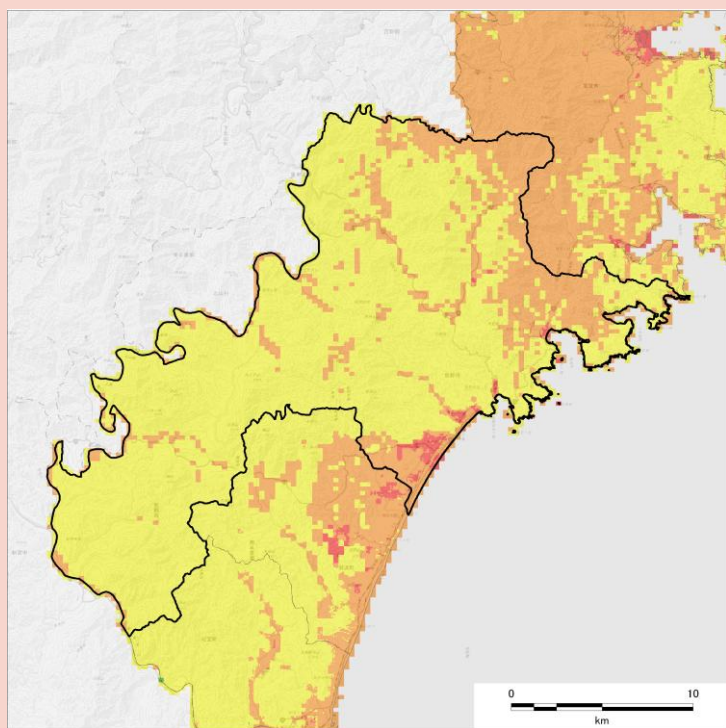


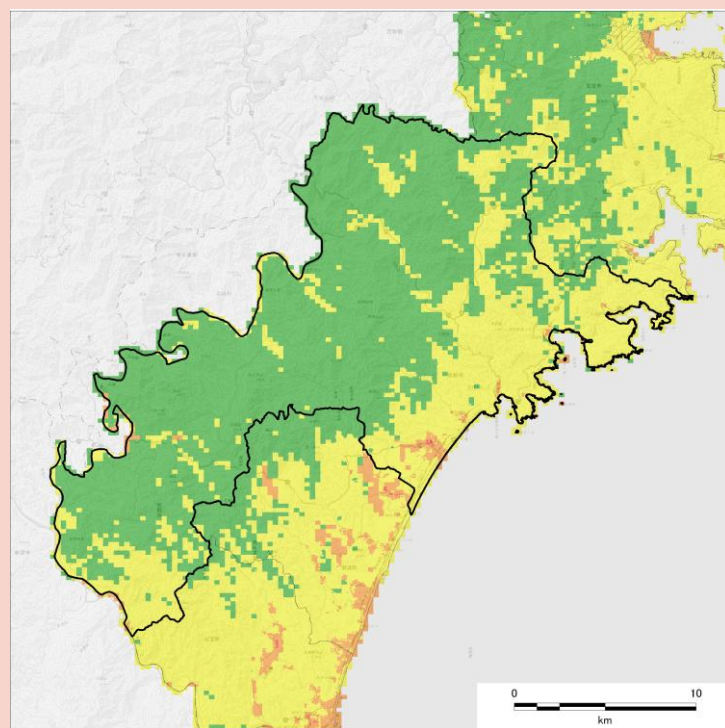
1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

< 震度別面積割合 >

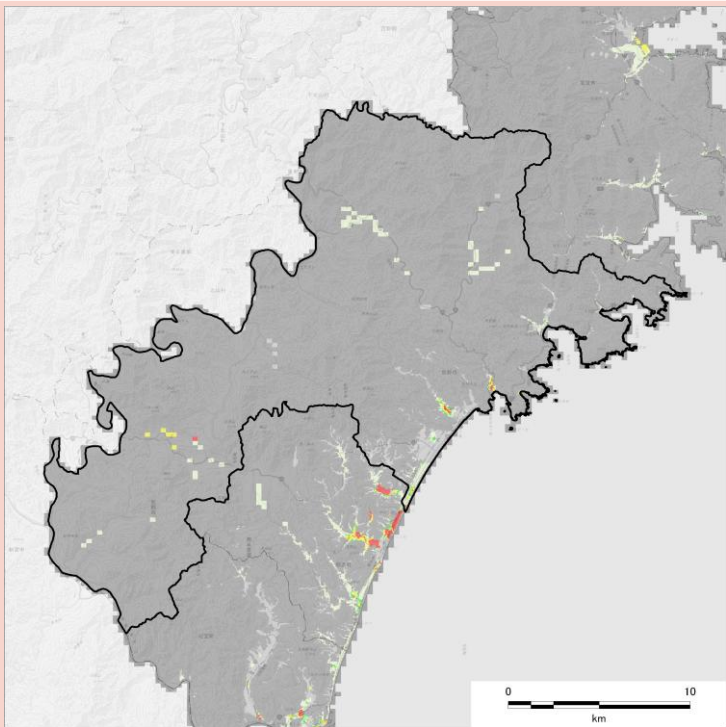
(参考) 総面積 = 373.4km²

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	3.3	1%未満	0.1	0%
6強	73.2	20%	4.3	1%
6弱	296.8	80%	121.0	32%
5強	0.0	0%	248.0	66%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

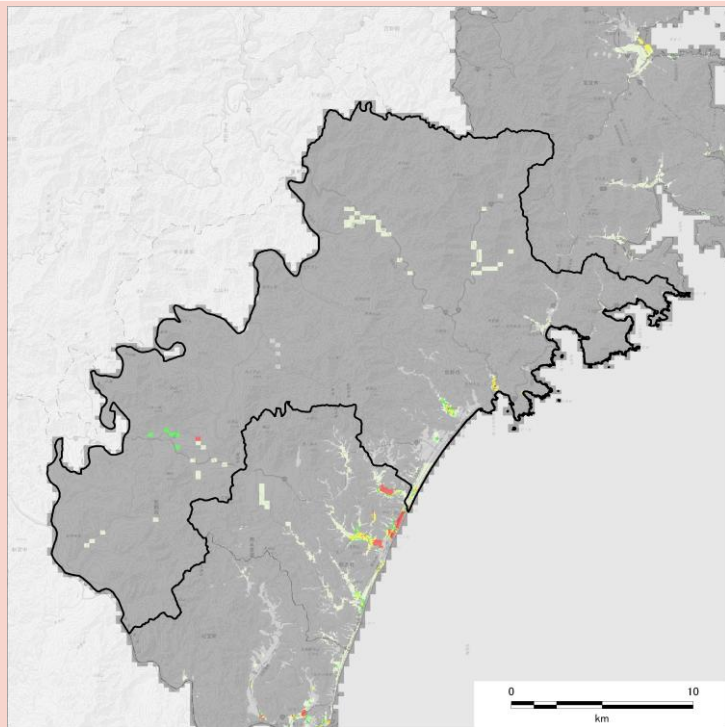
※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- 極めて低い
- 計算対象層なし
- 計算対象外

< 液状化危険度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 373.4km²

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	0.2	0%	0.1	0%
高い	0.6	1%未満	0.3	1%未満
低い	0.2	0%	0.5	1%未満
極めて低い	4.7	1%	4.7	1%
計算対象層なし 計算対象外	367.7	99%	367.7	99%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
17m	12m

(4) 沿岸津波到達時間

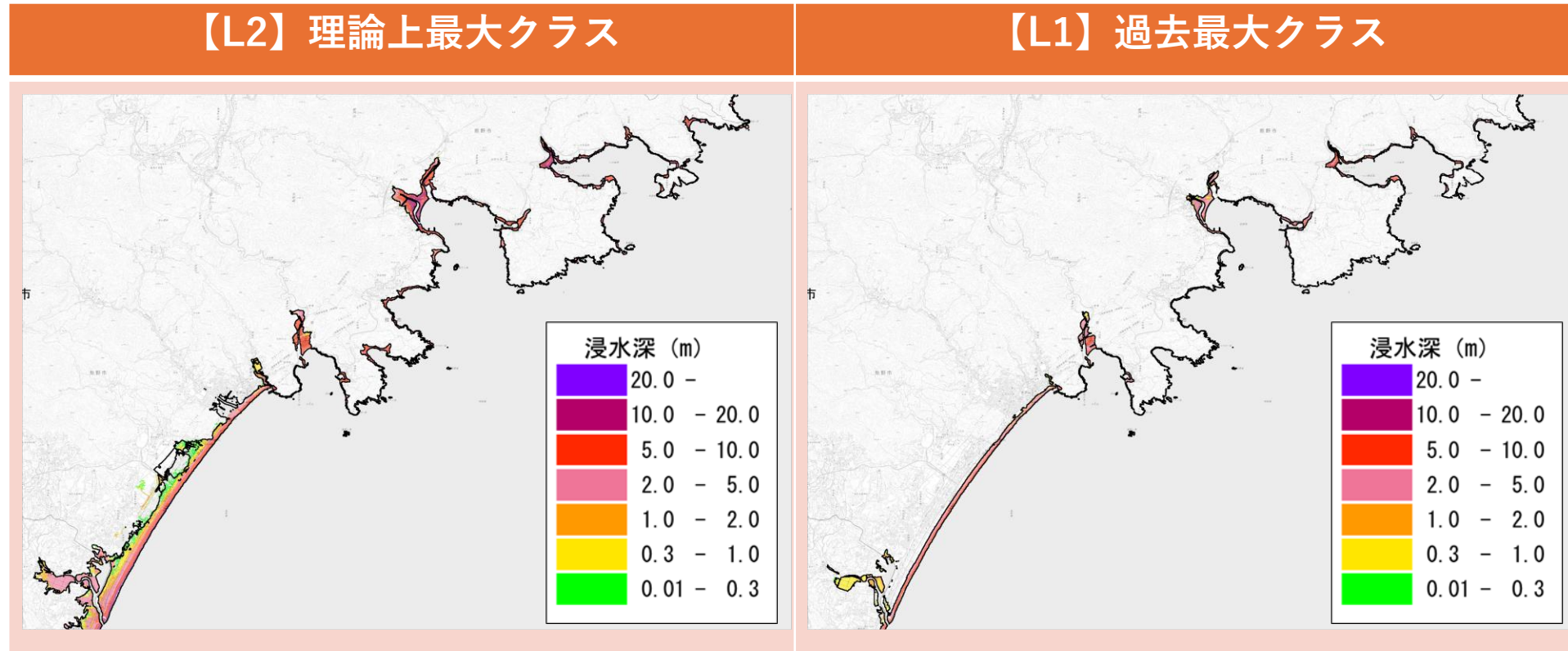
L2	L1
3分	3分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

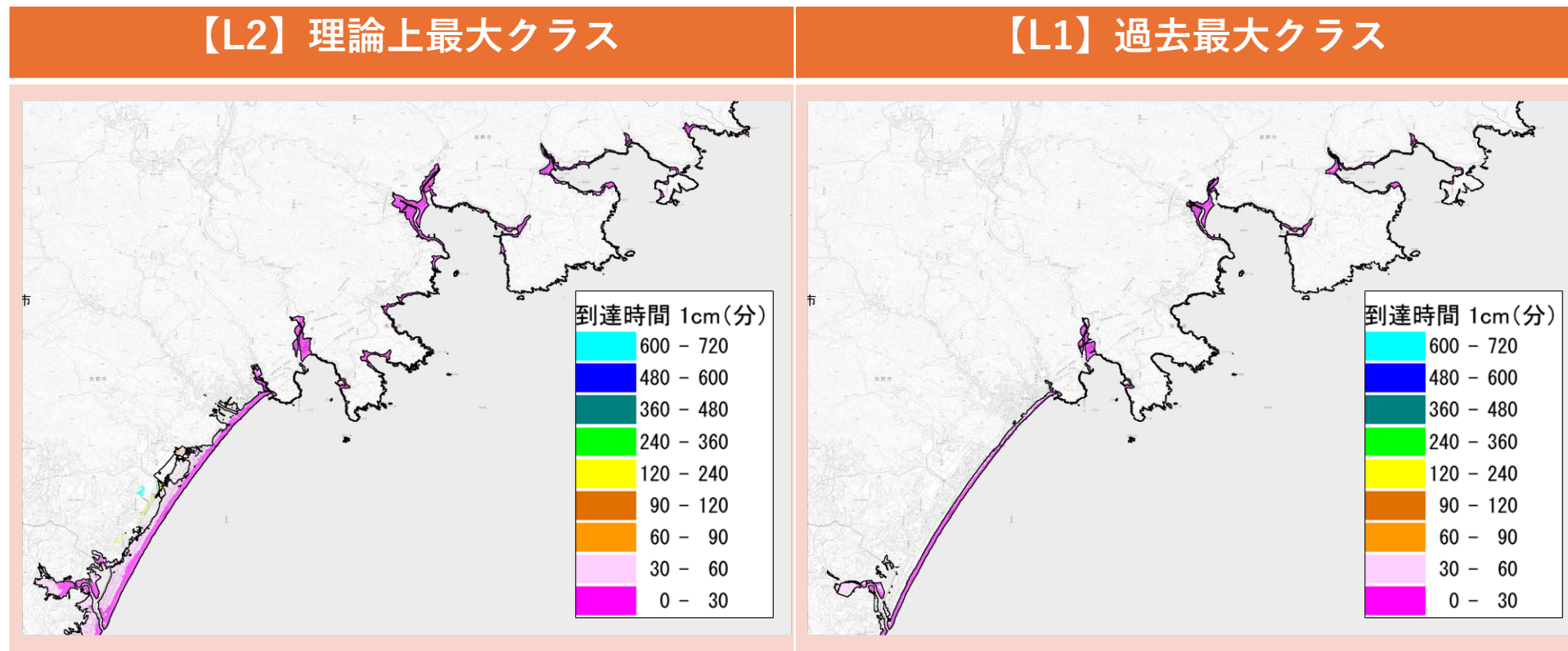
(5) 津波浸水面積

L2	L1
366ha	194ha

(6) 津波浸水深



(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑩の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約1,100	約500
うち建物倒壊等	約200	約30
うち津波	約800	約400
うち急傾斜地崩壊等	約20	約20
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約400	約60
軽傷者数（人）	約900	約400
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約500	約60
津波被害による 要救助者数（人）	約60	約20
津波被害による 要捜索者数（人）	約800	約400

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑥の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約4,800	約1,000
うち揺れ	約3,800	約500
うち液状化	-	-
うち津波	約500	約400
うち急傾斜地	約200	約200
うち火災	約300	-
半壊棟数（棟）	約3,700	約2,500
うち揺れ	約3,100	約2,100
うち液状化	-	-
うち津波	約100	約90
うち急傾斜地	約500	約400
ブロック塀等の 転倒数（件）	約500	約200
自動販売機の 転倒数（件）	約10	約10
屋外落下物の 発生数（件）	約700	約20

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約10	-
残火災件数（件）	約10	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

広い範囲で震度6強（一部で震度7）となります。また、地震発生から3分程度で高い津波が沿岸に到達し、30分以内に浸水が生じる地域があります。

【リスク評価】

死者の約8割が津波で亡くなり、また揺れによって市全体の約3割の建物が全壊することで建物倒壊等による死者や自力脱出困難者が発生します。津波による全壊や火災による焼失も発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。